

## 平成 16 年度 コンクリート委員会 第 1 回常任委員会 議事録 (案)

日時：平成 16 年 5 月 10 日 (月) 14:00 ~ 17:30

場所：土木学会講堂

出席者：丸山委員長，石橋，猪熊，上田 (代理：佐藤靖)，魚本，梅原 (代理：鎌田)，大津 (代理：重石)，岡沢，金津 (代理：松村)，坂井，佐藤勉 (代理：谷村)，佐藤良 (代理：河合)，島，竹田，武若，辻，堤，手塚，富田 (代理：片桐)，二羽，福手 (代理：守分)，松岡，宮川 (代理：岸)，睦好，山本，渡辺の各委員，前川幹事長，井上・宇治・中村・三島・横田の各幹事，松沼 (事務局)，石田 (同席者)

配布資料：

- 1-0 平成 16 年度コンクリート委員会第 1 回常任委員会議事次第
- 1-1 平成 15 年度第 6 回常任委員会議事録 (案)
- 1-2-1 平成 15 年度コンクリート委員会一般会計および特別会計 会計状況 (3 月 31 日確定)
- 1-2-2 平成 16 年度コンクリート委員会一般会計暫定予算案 (5 月 10 日現在) および特別会計 会計状況 (5 月 10 日現在)
- 1-3-1 国際シンポジウム ConMat'05 の開催支援について
- 1-3-2 ConMat'05 First Announcement & Call for Papers
- 1-4-1 第 3 種委員会設置申請 「コンクリート - 地盤境界問題研究小委員会」
- 1-4-2 第 3 種委員会設置申請 「混和材料を使用したコンクリートの物性変化と性能評価研究小委員会」
- 1-5 示方書小委員会 4WG の概要及び委員構成
- 1-6-1 超高強度繊維補強コンクリート設計・施工指針 (案)
- 1-6-2 参考資料 1 曲げ試験と逆解析方法
- 1-6-3 参考資料 2 強度試験供試体の作成方法
- 1-6-4 参考資料 3 超高強度繊維補強コンクリートの引張強度特性値と引張軟化曲線
- 1-6-5 参考資料 4 超高強度繊維補強コンクリートのせん断耐力
- 1-6-6 参考資料 5 継目部のせん断伝達耐力
- 1-6-7 参考資料 6 超高強度繊維補強コンクリートの耐久性
- 1-6-8 参考資料 7 超高強度繊維補強コンクリートの疲労特性
- 1-6-9 参考資料 8 超高強度繊維補強コンクリートを用いた構造物の設計例
- 1-6-10 参考資料 9 超高強度繊維補強コンクリート部材の製造例
- 1-6-11 参考資料 10 引張鋼材を有する梁のひび割れ検討
- 1-6-12 超高強度繊維補強コンクリート設計・施工指針 (案) への修正意見に対する回答案
- 1-7-1 示方書小委員会環境側面検討部会
- 1-7-2 規準関連小委員会 委員構成
- 1-7-3 アルカリ骨材反応対策小委員会 委員構成
- 1-7-4 表面保護工法研究小委員会・委員構成
- 1-7-5 吹付けコンクリート研究小委員会 委員構成
- 1-7-6 PC 構造物の現状の問題点とその対策に関する研究小委員会 委員構成

- 1-7-7 コンクリートの表面被覆および表面改質技術研究小委員会（325）委員構成（第2期）
- 1-7-8 豊かな沿岸を造る生態系コンクリート研究調査小委員会（330委員会）名簿
- 1-8 コンクリート標準示方書英訳小委員会 作業の現状報告
- 1-9 日本工業規格（案）コンクリート用語
- 1-10 調査研究小委員会の新設・統合 評価要領
- 1-11-1 土木学会コンクリート委員会ホームページ/トップページデザイン案
- 1-11-2 土木学会コンクリート委員会規準関連小委員会用ホームページデザイン案
- 1-12-1 「生涯教育と情報発信に関するシンポジウム」～コンクリート分野における今後のあり方を模索して～開催のご案内
- 1-12-2 コンクリート教育研究小委員会報告書目次
- 1-13 平成16年度全国大会・研究討論会企画案 コンクリート委員会アルカリ骨材反対応策小委員会
- 1-14 fib Symposium first announcement (2005 Budapest)

議事：

1．委員長挨拶

丸山委員長より、平成16年度第1回常任委員会開催にあたっての挨拶がなされた。その後、井上幹事より海外出張からの帰国挨拶がなされた。

2．前回議事録（案）の確認（平成15年度第6回常任委員会）

資料1-1の平成15年度第6回常任委員会議事録（案）が横田幹事により確認され、5ページ下から11行目の「所持」を「食事」と訂正することで承認された。

3．審議事項

(1) 舗装工学委員会との打合せ会議報告

魚本委員より標記会議に関して報告がなされた。その要点は以下の通りである。

- ・ コンクリート委員会からは魚本委員、石橋委員、前川幹事長が出席。
- ・ 舗装工学委員会の方でコンクリート標準示方書舗装編の内容を含む示方書（アスファルト舗装、コンクリート舗装、共通部分）を今後作成していく。
- ・ コンクリート標準示方書の出版時期に同時に出版する。
- ・ コンクリート委員会としては佐藤良一委員、宇治幹事、岸氏（東大）を委員に入れてほしい旨要望。
- ・ 審議の内容は随時コンクリート委員会へ報告する。
- ・ 示方書出版会計からの仕掛品については事務局と相談するよう依頼。
- ・ 内容については舗装工学委員会の責任で出版する。

以上の内容に関して、宇治幹事より本年度の予算は舗装編の仕掛品を差し引く形で計上（なお、コンクリート委員会からの委員が舗装標準示方書委員会に出席するための旅費は先方の予算から支出することを後日確認）していることが報告された。また、魚本委員よりコンクリート委員会に対しての印税の支払方法を幹事会で検討してほしいとの要望が出され、本年度中に幹事会で検

討することとなった。

## (2) コンクリート委員会平成 15 年度決算および平成 16 年度予算

前川幹事長より、コンクリート委員会平成 15 年度決算および平成 16 年度暫定予算案の説明がなされた(資料 1-2-1, 1-2-2)。平成 15 年度の決算については、余剰金はほぼ仕掛品の返却という形になること、平成 16 年度予算については暫定のものであり、次回の常任委員会で確定したいとのことであった。全体的には昨年度より約 300 万円少ないが、年度内に鉄筋継手指針関係で増額される可能性があり、それを予備費に充てることができること、特別会計は年度持ち越しができるので緊急用に使用することが併せて報告された。なお、活動費がどうしても不足する場合は幹事団へ相談してほしいとのことであった。また、武若委員よりエポキシ指針英訳の活動期間に関して質問がなされ、1 年間で成果を出すことで合意された。審議の結果、決算・暫定予算ともに承認された。

## (3) ConMat'05 の開催支援について

魚本委員より、国際シンポジウム ConMat'05 の開催を支援するための WG を国際関連小委員会内に設置したい旨の提案(資料 1-3-1)がなされ、審議の結果これを承認した。また、資料 1-3-2 により同シンポジウムへの参加要請があった。

## (4) 3 種委員会の設置申請

第 3 種委員会として、前川幹事長より「コンクリート - 地盤境界問題研究小委員会(委員長: 前川宏一)」(資料 1-4-1)、東京大学石田氏より「混和材料を使用したコンクリートの物性変化と性能評価研究小委員会(委員長: 名和豊春)」(資料 1-4-2)の設置申請がなされた。若干の質疑の後、両委員会とも設置について承認された。なお、山本委員より、資料 1-4-1 については六価クロム溶出に関する記述に注意した上で公募文書を作成した方がよいというコメントがなされた。

## (5) 示方書小委員会の活動

石橋委員より、資料 1-5 に基づき、示方書小委員会の活動内容案および WG の委員構成が提案され、現行示方書に基づいた設計例を今年度中に作成することを目的とし、4 つ WG を設置して活動を行うとのことであった。これに対し、現場実務者の意見を聞く必要はないか(山本委員)、施工編の内容をどのように盛り込んでいくのか(辻委員)等の意見が出され、完成品ができる前に適宜報告し、現場実務者等の意見を聞くということで承認された。なお、丸山委員長より各 WG の委員は適宜増員いただいてもよいというコメントがなされた。また、成果品についてはコンクリートライブラリーとして出版することを確認した。各 WG の骨子については次回の常任委員会で報告していただくこととなった。

## (6) 超高強度繊維補強コンクリート設計・施工指針(案)

二羽委員より、超高強度繊維補強コンクリート設計・施工指針(案)への修正意見に対する回答(資料 1-6-12)について、その内容がパワーポイントを用いて説明された。また、同時に指針(案)と参考資料(1-6-1~1-6-11)の内容に関して補足説明がなされた。これらに対して、山

本委員より、熱養生という用語を蒸気養生の意味で使用しているのなら、給熱養生という用語が建築分野で使用されていることから、混乱を避ける意味から蒸気養生とした方がよいのではないかと、また、標準配合粉体という名称はこれでよいかという意見が出され、指針（案）2 ページ上部の給熱養生という用語は使用しないようにし、熱養生という用語については検討すること、また、標準配合粉体という名称やその性能、品質検査に関する記述については次回に報告するとの回答がなされた。さらに、魚本委員の適切な部材の寸法はどの程度かという質問に対しては、参考資料に判断可能な資料を載せるとの回答がなされた。また、睦好委員からはせん断の照査についてプレキャスト部材の場合についての記述を加えた方がよいのではないかというコメントが出された。本文や参考資料の内容に関して意見がある場合は6月11日（金）までに二羽委員あるいは事務局宛に提出し、次回の常任委員会で最終審議することとなった。

#### (7) 各種小委員会委員の追加・交代および325委員会委員構成

丸山委員長より、資料1-7-1～1-7-8に基づき各種小委員会の委員の追加・交代、および325委員会の委員構成が報告され、特に問題なく承認された。

### 4. 報告事項

#### (1) 台湾土木学会共同セミナーの状況報告

堺委員欠席のため、宇治幹事より簡単な報告がなされた。具体的な作業は堺委員の方で準備中とのことであった。

#### (2) 示方書英訳作業状況報告

武若委員より、資料1-8に基づき示方書英訳作業の状況が報告された。施工編が若干遅れているが、ほとんど完了に近い状況であり、次回の常任委員会に原稿を提出することであった。また、宇治幹事より出版企画書は以前に提出しており、CD-ROMを基本に考えているとの補足がなされた。

#### (3) 重点研究課題の選定結果報告

丸山委員長より、コンクリート委員会から標記重点研究課題に4件応募したが、残念ながら採用されなかった旨報告がなされた。

#### (4) JIS用語について

宇治幹事より、資料1-9に基づき、JISのコンクリート用語の改正・追加の概要が報告された。この資料がほぼ最終版になるとのことであった。

#### (5) 調査研究企画委員会報告

前川幹事長より、資料1-10に基づき、調査研究委員会の新設・統合の評価要領が説明された。また、魚本委員より内容に関して若干の補足がなされるとともに、複合構造委員会の動向について紹介がなされた。

(6) コンクリート委員会および規準関連小委員会のホームページの改訂について

鎌田氏(梅原委員代理)より,資料 1-11-1 および 1-11-2 に基づいて,コンクリート委員会ならびに規準関連小委員会のホームページの改訂についての報告がなされた。コンクリート委員会については5月中に,また規準関連小委員会については6月1日に公開予定とのことであった。

(7) コンクリート教育シンポジウムの開催について

守分氏(福手委員代理)より,資料 1-12-2 に基づき,コンクリート教育研究小委員会の報告書の内容に関する報告がなされ,資料 1-12-1 によりシンポジウムの内容が紹介された。120 名を目標にし,最低でも 90 名は見込んでいますので,できるだけ多くの方に参加していただきたいとの要請がなされた。

(8) 全国大会研究討論会準備状況

岸氏(宮川委員代理)より,資料 1-13 に基づき,本年度の全国大会研究討論会の内容とその準備状況が報告された。現在,各パネラーに2ページ程度の概要作成を依頼中とのことであった。

(9) 指針類英訳シリーズの刊行について(資料回覧)

宇治幹事より,指針類英訳シリーズの刊行に関する報告がなされた。なお,他の出版物と識別できるよう,表紙の色については幹事会で検討のうえ決定することとなった。

(10) 国際標準化活動基準強化アクションプランの新規プロジェクト検討依頼

辻委員より,各種規準類に関連して標記の経済産業省の助成に応募してはどうかという意見が出され,幹事会で検討することとなった。

(11) fib シンポジウムの紹介

資料 1-14 の fib シンポジウム(2005, Budapest)が紹介された。

5. その他

コンクリート標準示方書規準編は今年度発刊することが確認された。

次回: 7月9日(金) 17:00~ 高知